

事業番号	04 01 01	事業改善シート(27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	芸術文化活動推進事業			担当課	部局	県民文化部	
総合5か年計画	プロジェクト	2-2-4 農山村産業クラスター形成プロジェクト 6-5-2 誇りある暮らし実現プロジェクト		課・室	文化政策課		
	施策の総合的展開	7-3 生涯を通じた学びと文化・スポーツに親しむ環境づくり 2 文化芸術の振興		E-mail	bunka@pref.nagano.lg.jp		
				実施期間	S55 ~		

1 事業の概要

目指す姿	優れた文化芸術の鑑賞機会や発表の機会を広く県民に提供し、心豊かな暮らしの実現を目指す。 成果目標:文化芸術活動に参加した人の割合 62.5%(H24)→70.0%(H29)	
現状(予算編成時)	県民が芸術や文化に親しむとともに、文化芸術活動に参加し個性豊かな創造性を発揮できる環境が求められている。	
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】
	県民との協働による実施:実施は困難	文化芸術振興基本法、長野県文化芸術振興指針

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)						
	<ul style="list-style-type: none"> ○県民芸術祭参加者数:223,400人 ○県民文化会館・ウィーン楽友会館姉妹提携事業参加者数:3,200人(過去平均2,200人+特別公演1,000人) ○伊那文化会館芸術鑑賞促進事業鑑賞者数:1,100人(H26実績1,103人) ○セイジ・オザワ 松本フェスティバル鑑賞者数:90,000人(実行委員会設定値:目安値) ○若手芸術家の発表の場の新規開拓:観光地ホテル等とのマッチング数 20組(3年間のパイロット事業) 						
	② 事業内容 (単位:千円)						
		項目	実施方法	H27実施内容	H26(当初)	H27(要求)	H27(予算案)
	1.県民芸術祭開催事業	直接・負担金	・県民コンサート(3か所)の開催(直接) ・芸術文化団体参加事業との共催 負担先(参加団体)		7,297	8,297	7,897
	2.文化施設芸術文化普及事業	補助金	・指定管理者が実施する自主事業の支援		1,700	0	0
	3.若手芸術家・観光コラボレーション事業	委託	・若手芸術家等を観光ホテル等へ紹介し活用を促進委託先((一財)長野県文化振興事業団)		2,866	2,866	2,866
	4.セイジ・オザワ 松本フェスティバル共催負担金	負担金	・セイジ・オザワ 松本フェスティバルの共催 負担先(2015セイジ・オザワ 松本フェスティバル実行委員会)		60,000	100,000	100,000
	5.県民文化会館・ウィーン楽友会館姉妹提携事業共催負担	負担金	・ウィーン演奏家招へいによる演奏会、出前コンサート等 負担先((一財)長野県文化振興事業団)		5,000	10,000	10,000
	6.伊那文化会館芸術鑑賞促進事業共催負担金	負担金	・プラハ国立劇場オペラ「椿姫」開催 負担先((一財)長野県文化振興事業団)		4,000	4,000	4,000
	7.首都圏における文化芸術発信事業	負担金	・銀座NAGANOを活用した本県文化芸術の魅力発信 負担先(県内アートライン協議会)		2,160	2,160	2,160
	8.信州の山岳文化創生事業	負担金	・官民協働による山岳文化情報の集積・整理、ブックフェアや写真展の実施 負担先(実行委員会)		0	500	500
	9.信州文化会館ネットワーク事業	委託・負担金	・ネットワーク構築 委託先((一財)長野県文化振興事業団)・共同、連携公演の支援等 負担先(同左)		0	11,300	8,783
	10.信州ミュージアムネットワーク化事業	直接	・県内博物館、美術館等との協議、ネットワークの構築		0	9,328	1,915
	11.信州版アーティスト・イン・レジデンス事業	直接・補助金	・連絡会の構築、講演会・視察の実施(直接) ・先進モデル事業の助成 補助先(実施団体)		0	10,016	0
12.文化を語るシンポジウム共催負担金	負担金	・富山県と豊かな文化資源の魅力発信するシンポジウムを開催 負担先(実行委員会)		0	0	2,500	
13.地域創造負担金	負担金	・(一財)地域創造の事業の拡充・強化を図るため負担金を拠出。負担先((一財)地域創造)		9,878	9,878	9,507	
14.その他共通経費	直接	旅費・需用費、コピー代、基金運用益積立等		1,449	1,461	1,461	
*文化振興基金(仮称)を設置し、新たな文化振興事業を実施(積立予定額45,000千円)				合計	94,350	169,806	151,589

事業コスト	区分(単位:千円)		24年度	25年度	26年度	27要求	27予算案	成果目標の達成状況					
	予算額	前年度繰越							項目	H26末(見込)	H27		
		当初予算	90,283	81,027	94,350	169,806	151,589	目標			成果	達成状況	H28目標
		補正予算	977						県民芸術祭の参加者数	221,600人	223,400人		
		合計(A)	91,260	81,027	94,350	169,806	151,589		県文・ウィーン姉妹提携事業参加者数	2,200人	3,200人		
	Aの財源	一般財源	52,421	49,533	64,471	104,471	104,471		伊那文オペラ鑑賞者数	1,103人	1,100人		
		県債							セイジ・オザワ 松本フェスティバル鑑賞者数	54,274人	90,000人		
		国庫支出金	1,007						若手・観光マッチング数	15組	20組		
		その他	37,832	31,494	29,879	65,335	47,118						
	決算額(B)		90,708	81,576									
概算人件費	職員数(人)	1.27	1.77	2.57	2.7	2.7							
	概算人件費(C)	10,488	14,617	21,223	22,297	22,297							
概算事業費(B(A)+C)		101,196	96,193	115,573	192,103	173,886							

指摘事項等への対応	(指摘事項等) 【監査】サイトウ・キネン・フェスティバル松本を今後も県としてバックアップする立場で考えてほしい。 【県民協働による事業改善】芸術文化活動は極めて大事であり、事業の意義は大きいため予算を増額すべき。	(対応) セイジ・オザワ・松本フェスティバルに名称変更するのを機に、信州ブランドを国内外に発信し、本県の文化芸術の振興はもとより文化芸術のもつ創造性を県内の地域振興、観光振興につなげるため、負担金額を増額。
-----------	--	--

要求からの主な変更点	・文化を語るシンポジウム共催負担金は、共同実施する県との調整が整ったため、追加計上。 ・その他、金額に異動のあった事業は、事業の進め方の工夫や既存事業との住み分け等により、経費を精査。
------------	---